

夕張市議会だより

2014年2月1日

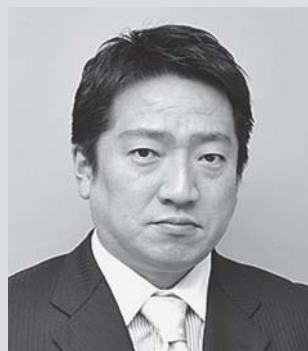
第23号

議会運営委員会

平成25年第4回定例市議会

第4回定例市議会は、平成25年12月10日から19日までの10日間を会期として開催されました。

付議されたものは、議案14件・諮問1件・報告6件に加え、追加議案1件・意見書案3件の審議を行い、すべて原案通り可決いたしました。



夕張市議会議長

高橋 一太

「再生夕張」を合言葉にさらに前へ

―市民・行政・議会一体となつて―

新年あけましておめでとうございます。

夕張市議会は本年も、市民の皆様への負担にこたえるべく、様々な課題に全議員一丸となって取り組んでまいります。

本年も一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議案

- ◎ 夕張市財政再生計画の変更について
- ◎ 平成25年度各会計補正予算（国民健康保険事業・介護保険事業）計2議案
- ◎ 夕張市税条例の一部改正について
- ◎ 夕張市子ども基金条例の一部改正について
- ◎ 夕張市観光施設設置条例の一部改正について
- ◎ 夕張市下水道条例の一部改正について
- ◎ 夕張市水道事業給水条

諮問

- ◎ 人権擁護委員候補者の推薦について

報告

- ◎ 専決処分報告について（損害賠償額の決定2件）
- ◎ 財政的援助団体の監査結果について
- ◎ 例月現金出納検査の結果について（8月～10月）

意見書

- ◎ 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に

例の一部改正について

夕張市火災予防条例の一部改正について

市道路線の認定について

市道路線の変更について

市道路線の廃止及び変更について

損害賠償額の決定について

夕張市教育委員会委員の任命について

平成25年度夕張市一般会計補正予算について

【追加】

関する意見書

過疎対策の積極的推進を求める意見書

積雪寒冷地域対策の推進を求める意見書

一般質問の内容と答弁

島田達彦議員質問

指定管理施設のあり方について



質問

- （1）生活館等について
- （2）観光施設等の今後のあり方について

《質問趣旨》

今年8月に開催された三者協議で、生活館の維持管理については、施設存続のため最低限の助成の必要性

ご意見・ご感想をお寄せください

夕張市議会事務局
本町4丁目市役所内
電話 4頁に記載

編集委員

委員長 厚谷 司
委員 熊谷 桂子
委員 島田 達彦
委員 小林 尚文
委員 大山 修二

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えするために、「議会だより」を発行しています。また、市役所本庁・南支所及びふれあいサロンにも配布しております。

は認められるため実施の方
向で検討と、「解決」との
結果が示されたが、26年度
予算にどのように盛り込ま
れるのか具体策は

■答 弁

(1) 具体的な助成の内容に
ついては、各施設ごとに管
理方法や住民負担を含めた
収入事情が異なることを踏
まえ、従前、市が担ってき
た法定点検の費用同様「施
設を使用するしないにかか
わらず、必ず必要となる経
費」である「電気、水道の
基本料」相当分を新たに助
成することを検討している
ところ。これにより、これ
まで地域が培ってきた独自
性、工夫を活かしながら、
各施設間の公平性も保てる
ものであると考えている。

(2) 北の零年ロケセット
は、プトマチャンベツ川の
土砂災害により立入禁止区
域に指定し、現在、来春を
目途に解除に向け、復旧作
業を進めているところであ
り、施設を保全するため、
指定管理者と連携し安全対
策に努める。

パークゴルフ場は今後、
運営状況など各指定管理者
などから聞き取りを実施し、

現状把握に努める。

厚谷司議員質問

現在の行政執行体制と 市職員の健康問題につ いて

■質 問

(1) 派遣職員の帰任に伴う
対応の進ちよく状況は

(2) 医師の診断を継続的に
受けている職員が多いよう
だが、市長の見解及び今後
の体制づくりについて

■答 弁

(1) 今年度末で総数19名中
12名が帰任となるもので、
三者協議結果を踏まえ派遣
要請を継続しているところ。

北海道市長会からの派遣
は限界性も明らかになって
きており、現在、北海道と
共同で要請を行っており、
本年度と同数が見込める状
況。しかしこのような対応
は緊急措置に過ぎず、安定
した体制確保のための職員
定数の見直しや計画的採用
について協議を継続してい
る。

(2) 職員を守ることが長と
しての責務でもあり、こう
した事態にまで発展してい
ることに對し、財政再生計

画のあり方がこのままでい
いのか考えざるを得ない状
況。

課題は多いが国・北海道
に共通認識をしっかりと持っ
ていただき、改善に向けた
協議を続け、最大限の対応
を行っていく。

教育行政における課題と 対応について

■質 問

(1) 特別支援教育支援員の
配置人員について

(2) 市内における教員免許
所有者の状況は

(3) 幼稚園教諭退職に伴う
応募の見通しについて

■答 弁

(1) 現在小中学校で各1名
支援員を配置している。学
校としては、教員経験者、



または日常的に子どもたち
とかかわっている方、学校
活動に理解ある方にお願
いしたいという希望がある。

市教委として把握してい
る市内の教員免許所有者は
30数名と把握。但し、大
数が高齢であり、また若
い方も現在働いていたり、
子育て中。市内にあつては
人材確保は厳しい状況であ
る。

12月10日現在応募はな
い。応募期日までに応募が
なかった場合、大学等へ働
きかけたい。

角田浩晃議員質問

夕張市立診療所の 改築について

■質 問

(1) 夕張市医療保健対策協
議会の進め方について

(2) 平成29年度以降の指定
管理医療法人に対する考え
方について

(3) 移転改築時期を先送り
することとなるが、その理
由について

■答 弁

(1) 夕張市医療保健対策協
議会は平成25年1月以降中
断していたが、市内医療機

関の皆様と協議を重ねた上
で、市の案をまとめ12月4
日に再開したところ。

市立診療所の改築という
重要課題にもかかわらず、
本協議会の事務局として、
地域医療に対する配慮不足
や、協議会の進行等に不備
があつたことを深く反省す
るもの。

今後の進め方について
は、平成26年1月中を目途
に、「拡大会議」を開催
し、意見交換をさせて頂
き、平成26年2月を目途に
協議会より答申を頂きたい
と考えている。



(2) 希望の杜との指定管理
契約の期限は、平成28年度
末となっていることから、
平成27年度中には、現在の
施設を活用して運営して頂

ける指定管理者を公募する必要がある。

(3) 市立診療所の運営にあたっては、「社会医療法人制度」の活用と、「へき地診療所」として認定されることが、持続可能な医療体制には欠かすことのできない要件であり、このために最長10年の先送り案を示したところ。

小林尚文議員質問

夕張市農業の 担い手について

■質問

(1) 現状と課題について
(2) 農業団体との連携について

《質問趣旨》

農家戸数が減少している中で、その担い手は将来像が見通せない現状にあるが、担い手の確保と環境づくり対策はどのように考えているのか。

■答 弁

(1) 生産者の経済はデフレ化等の影響により厳しくなっている。離農がある一方、多額の投資が必要なことから新規参入が困難である。一戸あたりの作付増も

難しい中で、意欲と能力のある担い手の育成・確保が重要であると認識している。

(2) ハウスパイプの借り入れの利子補給や加温設備への道補助を活用しているが、課題解決のため農地集積や「人・農地プラン」を6農事組合での策定を進める。

また、農業団体と協議しながら国などの支援策を活用し担い手対策に取り組んでいく。

東京オリンピック開催 における本市とのかわりについて

■質問

(1) 合宿等の誘致に向けての対応策は

《質問趣旨》

事前合宿受入の可能性と対応策、また本市の今後の取組みについてどのように考えているのか。

■答 弁

(1) 本市には様々なスポーツ施設があり多様な競技の受入れが考えられることから、北海道に対しては機会があれば受け入れを検討したい旨回答している。

一方、受け入れにおいては施設の規格や医療・セキュリティ・食事等への対応が求められると考えられるが、本市の財政状況を考えると非常に厳しい状況にある。

「高校生キャンプ」など東京都との連携を通し、情報収集に努める。また、受入れ体制づくりが可能か否かは、市全体で取り組む課題であると考えている。



熊谷桂子議員質問

子育て支援について

■質問

(1) 小中学校教員の加配、特別支援教育支援員の増員と、就学援助の枠拡大について

(2) その他の子育て支援、子育て支援センターの拡充について

■答 弁

(1) 現在、小学校で2名、新年度は1名増の3名の加配、中学校については現在1名の加配を新年度も引き続き要請中。

特別支援員は雇用時間の増について協議中。人材の確保に苦慮している現状。

就学援助の枠拡大は、平成17年度からは国庫補助が廃止され、本市の状況では大変厳しい。



(2) 医療費無料の対象年齢引き上げ、放課後の少年団活動での体育館の暖房利用、学校支援員の増員、部活や学力向上等貴重なご意見をいただいた。移住・定

住対策にも重要な施策であり、まちづくりの最重要課題の一つとして、積極的に取り組む。今年度中に二丁調査を行い、総合的に検討していきたい。

■要望

(1) 修学旅行に行けない児童もいる。次代を担う子どもたちのため、全庁をあげて努力を。

(2) 市民団体、保育園、NPOなどとの共同も含め最大級の努力を。

職員の体制・待遇 について

■質問

(1) 職員の適正な人員配置・待遇について、国・道の責任の取り方を論議すべきでは

■答 弁

(1) 職員の状況については、現在、深刻な状況。当面計画の範囲内で給料の改善を検討中。国や道の責任については当然のことであり、認識を共有しながら計画変更を求めたい。

安心の市民生活について

■質問

(1) 地域包括支援センター

の役割、地域包括ケアシステム、デマンド交通、福祉灯油についての考え方は、高齢になっても安心の市民生活の確立について

■答弁

地域包括支援センターは、介護の中核的機関として、地域連携を図るとともに、データの更新を行うなどして、支援が必要な高齢者の把握と相談・支援の充実に努めたい。

デマンド交通は、市民の足を確保するため、利用しやすく、市の財政負担を軽減し、交通事業者の経営改善をも図るための取り組みとして、電話予約など、柔軟な運航を行うシステム。公共交通の一形態として検討中で、既にアンケート調査を実施しており、導入の可能性について検討する。

福祉灯油については平成19・20年度と活用できる財源があったことで実施したが、今年度は状況が異なり、実施は困難。

■要望

誰もが安心して人生の終末期を迎えられる、高齢者福祉政策「地域包括ケアシステム」の構築を。また、

誰もが安心して住み続けられるまちづくりのために、各方面の専門家の知識や情報を集めながら、まちづくりを。

行政視察受け入れ の対応状況

夕張市の現状を全国の自治体及び議会にお伝えするため、行政視察も積極的に受け入れております。

平成25年第4回定例市議会提出・議会行事報告から抜粋しました。

▽奈良県河合町議会・神奈川県南足柄市議会、三重県四日市市議会ほか2市議会から議員の受入（10月10日）▽栃木県足利市議会・山梨県大月市議会・山梨県上野原市議会議員の受入（10月24日）▽東京都八王子市議会・静岡県掛川市議会・広島県庄原市議会ほか3市議会の議員受入（11月14日）

以上の視察に対し、議長が対応しております。

懇談会・市内視察を開催しております



平成25年11月には各団体との懇談会〔8日(金)〕、また現役世代との懇談会〔21日(木)〕を開催し、各団体の現状等についてご意見をお伺いし、子育て世代・勤労世代等の皆様との意見交換を行っております。

特に「現役世代」と、参加者を特化した懇談会の開催は、夕張市議会基本条例サポーター・東京財団研究院の中尾修氏からもその開催方法には評価を頂いたところであり、当日も・農家でのパート

が求人を出しても集まらない状況になっている・滝ノ上季節保育所の閉園について・小中高での部活の偏在が市外への進学にも繋がり対策が必要・バス通学の乗車時間が違うので、以前のように低学年・高学年・中学生という縦のコミュニケーションがとれなくなっているように感じる・被災者の受入を積極的に進めるべきではないか・診療所改築についてはしっかりと道筋を示して欲しい・各団体との防災協定を今後どのように結んでいくのか検討されたい～など様々ご意見等をお寄せいただきました。今後もさらに開催内容等の充実を図ってまいります。

また、12月4日（水）には夕張商工会議所会頭以下役員の皆様との懇談会も開催しているほか、11月21日（木）には、行政常任委員会市内視察として、旧学校施設を活用している株式会社スポーツピア・一般社団法人ぱれっとふぁーむ・特定非営利法人あ・りーさだの各事業所の視察を行ったところです。



議会事務局の電話番号は
52-3172

です。なお、事務局職員が不在となることがありますので、その際は、恐れ入りますが、市役所代表電話

52-3131
までお願いいたします。